

令和２年度 学校経営計画

学校名	石川県立金沢伏見高等学校
校長	北村 幸恵

1 教育目標

誠実、聡明で品位があり、論理的な思考力や創造力を身につけた、社会に貢献できる心豊かな人間の育成をめざす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒の進路志望が多様である状況をふまえ、生徒一人一人の学力の向上、進路指導の充実に取り組んでいる。普通科高校として国公立大学等への進学実績を高めるとともに、地域で活躍できる人材の育成に努めている。
- ② 明るく素直な生徒が多く、学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等様々な教育活動をとおして、生徒が互いを認め合い、自己肯定感を育んでいる。

(2) 生徒の望ましい在り方

- ① 基本的な生活習慣を身に付け、規律ある高校生活を送る中で、将来、社会に貢献でき、心豊かな生き方ができるよう成長する。
- ② 学びの良さを知り、授業を基本としながら、家庭学習習慣の確立を図り、学力を充実させる。
- ③ 生徒会活動や部活動、学校内外の行事や体験活動をとおして、主体性、協調性、ボランティア精神を育む。
- ④ 一人一人の興味・関心、能力、適性に応じた進路目標を掲げるとともに、より高い目標に挑戦し達成しようという意欲を持つ。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 本校の使命、今後あるべき姿を共有し、様々な教育活動が有機的に機能するよう組織的・機動的な学校運営に参画する。
- ② 教材と指導法に関する研究に励みつつ、公開授業や授業評価等をとおして互いに高め合い、不断に授業改善に努める。
- ③ 進路研究を深め、指導法の研究・開発を重ね、中堅進学校としての地歩を固める。
- ④ 学校の教育活動を保護者・地域・中学校等に積極的に広報し、地域から信頼される魅力ある学校づくりに努める。
- ⑤ ワークライフバランスをとりながら、自らの人間性を高め、活力を養い、より効果的な教育活動を行う。

3 今年度の重点目標

- (1) 生徒があらゆる場で誠実さ・聡明さ・品位・心の豊かさを追求できるよう、教職員は安全で規律ある安心できる学校生活を日々実現する。
- (2) 生徒が学習意欲を高め主体的に学ぶ態度と方法を体得できるよう、教職員は深い学びの実現に向けて授業改善を重ね、評価の研究を進める。
- (3) 生徒がより高い進路目標を掲げその実現に向けて邁進できるよう、教職員は総力を挙げて生徒一人一人の進路実現を支援する。
- (4) 生徒が生徒会活動・部活動・学校内外の行事・体験活動を積極的に行い成長できるよう、教職員は主体性を引き出す働きかけに努める。
- (5) 教職員は(1) (2) (3) (4)の実現のため、より効率的かつ効果的な業務遂行を図り、組織的な業務改善策を提案する。
- (6) 教職員は、担当する教育活動の成果等について、保護者や地域に対し迅速かつわかりやすく学校ＨＰや印刷物等を活用して報告する。